SONY®

3-865-890-**02**(3)

# *ISDN•TA用*
# *ワイヤレスアダプター*

## 取扱説明書

**お買い上げいただきありがとうございます。**

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

# *WNS-230EX*

# ⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

## 安全のための注意事項を守る

4〜5ページの注意事項をよくお読みください。

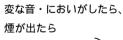
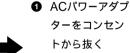
## 定期的に点検する

1年に1度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

## 故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

## 万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、
煙が出たら

❶ **ACパワーアダプターをコンセントから抜く**
❷ **本機に接続してある機器を取り外す**
❸ **お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

### 警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

**⚠警告**
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

**⚠注意**
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

**注意を促す記号**

火災

感電

**行為を禁止する記号**

禁止

分解禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

**行為を指示する記号**

プラグをコンセントから抜く

# 目次



## ご愛用者登録のお願い

このたびは、ソニーISDN・TA用ワイヤレスアダプターをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ソニーでは、お客様のご意見、ご感想をお寄せいただき、今後のより一層使いやすい製品作りに活用させていただくために、オンラインアンケートのホームページを開設いたしました。アンケートにお答えいただきました方は、ご愛用者リストに登録させていただきます。
なお、アンケートのご回答はすべて統計的に処理します。
また、お客様からのご回答、個人情報等は社内利用に限定し、万全のセキュリティー対策で管理いたします。
ぜひ、登録にご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

ホームページアドレス（URL）: http://www.sony.co.jp/cs/

## 警告

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**大けが**の原因となります。

### 雷が鳴りだしたら、本機や付属品に触れない

感電の原因となります。

### 本機は国内専用です

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。
本機は法令に基づく輸出規制対象製品です。
原則として日本国外へ持ち出すことはできません。

### 湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所に置かない

火災や感電の原因となります。

### 直射日光のあたる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高くなるところには置かない

火災の原因となります。

### 底面や側面の小さな穴をふさがない

雑誌や新聞、布などをかぶせたり、壁や家具に密接して置いて、底面や側面の通風孔をふさがないでください。内部の熱が外に逃げず、発熱や火災の原因となります。

## 内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、ACパワーアダプターのプラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

## 内部を開けない

火災や感電、けがの原因となります。
また、本機は、(財)テレコムエンジニアリングセンターの技術基準適合証明および(財)電気通信端末機器審査協会の技術的条件適合認定を受けた製品であり、容易に開けられない構造になっています。
内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

**⚠注意**

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

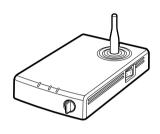
## ぬれた手でACパワーアダプターのプラグにさわらない

感電の原因となることがあります。

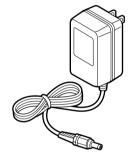
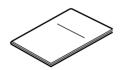
# 箱を開けたら

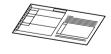
箱を開けたら、以下のものがそろっているかどうか確認してください。
不足しているものがある場合は、お買い上げ店またはお近くのソニーご相談窓口にご相談ください。

## WNS-230EXの箱の内容

WNS-230EXの箱には、以下のものが入っています。

WNS-230EX本体（1）

ACパワーアダプター（1）

パソコン接続ケーブル
（IBM PC/AT互換機用）（1）

取扱説明書（本書）（1）

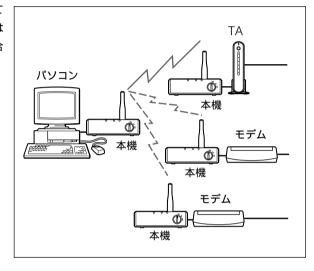
ソニーご相談窓口のご案内（1）

保証書（1）

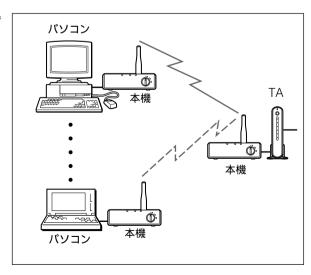
# 本機の特長

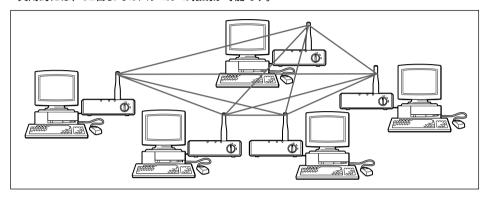
## パソコンと、TAやモデムを無線で接続します

- 接続のための配線が不要になりますので、パソコンとTAやモデムを従来よりも自由に配置することができます。
- 最大3台のTAやモデムを、複数台のパソコンから使用できます。

**使用例**

インターネットにはTAを使ってアクセスし、パソコン通信には高速モデムと低速モデムを場合に応じて使い分ける

1台のTAを複数台のパソコンで共有する

# 本機の特長

## パソコンどうしを無線でつないで小規模なネットワークを構築することができます

- パソコンどうしでファイルの共有ができます。
- 実用的には、32台までのパソコンの接続が可能です。

## 暗号化により通信の安全性を保ちます

- 本機間の無線通信に独自の暗号方式を採用していますので、盗聴されるなどの心配はありません。
- 送信側と受信側は、同じ暗号キー(送信データの組み換えを行い、またそれを解読するためのキー)を使用します。同じ暗号キーを持つWNS-230EXどうしでのみ通信できます。
- WNS-230EXには、出荷時にすべて異なる暗号キーが設定されています。ご使用になる前に、すべてのWNS-230EXに同じ暗号キーを設定してください(15ページ)。

## WNS-230/230wと互換性があります

WNS-230EXは、WNS-230/230wと互換性がありますので組み合わせて使用することもできます。このときは、WNS-230/230wの取扱説明書も合わせてご覧ください。

## その他

- 最大230.4kbpsの通信速度に対応しています。
- 電波の届く範囲は、見通しのきく範囲で約300m、屋内で約30mです。(ただし、この距離は使用環境により変わります。)

---



Windows 3.1の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System Version 3.1です。
Windows 95の正式名称は、Microsoft® Windows® 95 Operating Systemです。
Windows 98の正式名称は、Microsoft® Windows® 98 Operating Systemです。
Windows NTの正式名称は、Microsoft® Windows NT™ Operating Systemです。

# 組み合わせて使用できる機器



Windows 98（またはWindows 95）、Windows NT、Macintoshおよびこれらに対応するTA、モデム、LocalTalk対応製品に本機を接続することができます。

## 本機と組み合わせて使用できるパソコン

以下のパソコンと組み合わせて使用できます。

### IBM PC/ATと互換機、PC-9800シリーズ

本機は、Windows 98（またはWindows 95）、Windows NT Workstation（4.0以上）またはWindows NT Server（4.0以上）をインストールしたIBM PC/ATとその互換機、PC-9800シリーズと組み合わせて使用できます。

**ご注意**

- 本機と25ピンコネクターのみ装備するPC-9800シリーズとの接続には、変換アダプターが必要です。下記の配線の変換アダプターまたはソニー補修用部品（1-475-019-21）をご使用ください。ソニー補修用部品は、お買い上げ店にてお求めください。

| D-SUB9ピン（オス） | | D-SUB25ピン（オス） |
|---|---|---|
| 1 | ー | 8 |
| 2 | ー | 3 |
| 3 | ー | 2 |
| 4 | ー | 20 |
| 5 | ー | 7 |
| 6 | ー | 6 |
| 7 | ー | 4 |
| 8 | ー | 5 |
| 9 | ー | 22 |

- 本機は、Windows 3.1には対応していません。

### Macintosh

漢字Talk7.1.1以上のMacOSを搭載したMacintoshパソコンと本機を組み合わせて使用できます。

**ご注意**

- MacintoshのミニDIN型のシリアルポートに対応しています。
  USBポートには対応しておりません。
- 本機とMacintoshパソコンの接続には、別途接続ケーブルが必要です。
  ソニー製Mac用プリンターケーブルIF-PR15MC、または市販のプリンターケーブルをご使用ください。

# 組み合わせて使用できる機器

## 本機と組み合わせて使用できるTA/モデム

上記のパソコンに対応したもので、通信速度が2400bps以上のTAおよびモデムと本機を組み合わせて使用できます。本機で使用できる通信速度は「主な仕様」(43ページ)をご覧ください。

**ご注意**

- 本機を使用してファックスの送受信はできません。
- 本機はWindowsのダイヤルアップアダプターやMacintoshのOpenTransportなどのPPP接続またはLocalTalk接続を使用して、パソコンとTA/モデム間またはパソコン間の無線化を行うものです。これら以外の通信ソフトでの動作保証はできません。

# 取り扱い上のご注意

## 設置についてのご注意

- 本機は、正しい向きでお使いください。立てると、正常に動作しなくなることがあります。
- できるだけ高く、本機どうしの間に障害物の少ない場所を選んで設置してください。
- 安定した場所に設置してください。不安定な場所に置くと、落下してけがの原因になります。
- 誤って足で踏んだり、上から物を落としたりすることがないような場所に設置してください。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高くなるところに置かないでください。高温により変形、変色、故障の原因になることがあります。
- ACパワーアダプターのコードが、ふだん人が歩く場所にはみ出ていると、足をひっかけるなどしてけがの原因になったり、本機の損傷の原因になります。コードの配置には十分注意してください。
- ACパワーアダプターは振り回さないでください。人やガラスなどに当たってけがをすることがあります。
- 通風孔をふさがないでください。
  底面や側面の小さな穴は、内部の熱を外に逃がす働きをしています。雑誌や新聞、布などをかぶせるなどして、この通風孔をふさがないようご注意ください。通風孔をふさいだままで使用すると、熱がこもって高温になり、故障の原因になりますので注意してください。
- ゴムやプラスチック製品など、熱に弱いものの上に置いて使用しないでください。
  本機の熱により、変形、変色の原因になることがあります。
- テレビやラジオの近くで使うと、映像の乱れや雑音の原因となることがあります。
  このような場合は、テレビやラジオから離れた場所でお使いください。
- お子さまの手の届かない場所に設置してください。はずれたつまみを飲み込むなど、思わぬ事故の原因になり、危険です。
- 本機を病院内に設置して使用しないでください。ME機器の誤動作の原因になることがあります。
- 電子レンジを本機と同時にご使用になりますと、通信に影響を与えることがあります。このような場合、電子レンジのご使用を控えていただきますようお願いいたします。
- 本機と同じ無線周波数を使用する他の無線機器を同時に使用すると、転送速度の低下や伝送エラーが発生することがあります。

# 取り扱い上のご注意

## 使用上のご注意

- 回線接続中にパソコンの電源をオフすると、回線が接続中のままになることがあります。パソコンの電源をオフする前に、必ず回線を切断してください。
- 動作中に接続コードがはずれたりゆるんだりすると、誤動作の原因になります。
  動作中は接続コードを動かしたり、コネクターの部分に触れないようにしてください。
- 必ず、付属のACパワーアダプターを使用して電源（AC100V）につないでください。
- 本機のアンテナは固定式になっております。無理に回すと破損の原因となります。

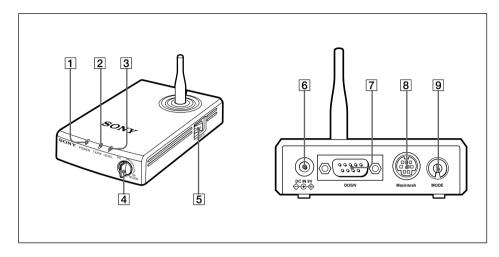
**本機を開けたり、分解しないでください。**

- (財) テレコムエンジニアリングセンターより技術基準適合証明を受けておりますので、容易に開けられない構造になっております。
- (財) 電気通信端末機器審査協会より技術的条件適合認定を受けておりますので、容易に開けられない構造になっております。

通信不良によるお客様の損害につきまして、当社は一切その責任を負いかねます。
通信内容が漏れたことに対しても、当社は一切その責任を負いかねます。

本ソフトウェアの内、「ATコマンド部およびPPP制御部」の知的財産権は株式会社ビー・ユー・ジーに帰属します。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

# 各部の名称と働き



1 **POWER(電源)インジケーター**
POWERスイッチ5で電源を入れると点灯します。

2 **TX/RX(送信/受信)インジケーター**
受信中は緑色に点灯します。
送信中は橙色と緑色に交互に点滅します。
(その他の状態での点灯、点滅については、それぞれ該当箇所に記載します。)

3 **LEVEL(受信レベル)インジケーター**
正常に受信中は緑色に点灯します。
受信状態が悪いと橙色に点灯します。
(その他の状態での点灯、点滅については、それぞれ該当箇所に記載します。)

4 **通信モード設定スイッチ**
本機を、パソコンとTAやモデムとの無線接続に使用する場合は、MODEM/TA 1、2または3のいずれかの位置にします。
本機を、パソコンどうしのファイル共有などに使用する場合はPCの位置にします。

5 **POWER(電源)スイッチ**
「I」を押すと電源が入り、「O」を押すと電源が切れます。

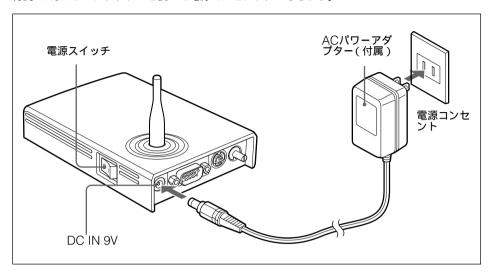
6 **DC IN 9Vジャック**
ACパワーアダプターを接続します。

7 **DOS/Vコネクター**
パソコン接続ケーブル(付属)を使って、以下の機器と接続します。
- Windows 98(またはWindows 95)またはWindows NTをインストールしたIBM PC/AT互換機またはPC-9800シリーズパソコン
- Windows 98(またはWindows 95)またはWindows NT用のTA/モデム

8 **Macintoshコネクター**
Mac用プリンターケーブル(別売り、22ページ参照)を使って、Macintoshパソコンや Macintosh用TA/モデムと接続します。

9 **動作モード設定スイッチ**
本機の使用目的に応じて切り換えます。
(どのように切り換えるかは、それぞれの該当箇所に記載します。)
スイッチ設定一覧も合わせてご覧ください(42ページ)。

# 電源へ接続する

付属のACパワーアダプターを使って電源コンセントにつなぎます。

**ご注意**

- この製品には、付属のACパワーアダプター（極性統一プラグ、EIAJ規格）をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると故障の原因になることがあります。

極性統一プラグ

- ACパワーアダプターのコードを傷つけないようご注意ください。
  金属のコードどうしが触れ合ってショートすると、ACパワーアダプターが発熱するなど、危険です。

## 電源を入れる/切る

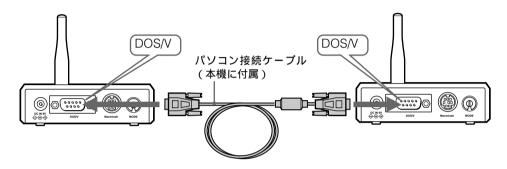
電源を入れるには、電源スイッチの「I」を押します。

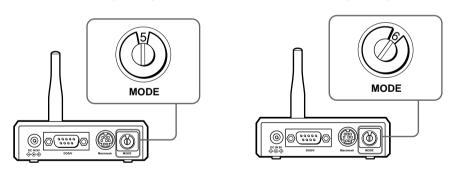
電源を切るには、電源スイッチの「O」を押します。

# 暗号キーの設定－お使いになる前に必ず行ってください

## すべてのWNS-230EXに同じ暗号キーを設定する

以下のように操作して、WNS-230EXに暗号キーを設定します。

**1** WNS-230EXの電源を切り、パソコン接続ケーブル（本機に付属）で接続します。

**2** 2台のそれぞれの動作モード設定スイッチを以下のように切り換えます。

一方のWNS-230EX（送信側）　　他方のWNS-230EX（受信側）

動作モード設定スイッチを回す場合、マイナスドライバーもご使用になれます。

**3** それぞれのWNS-230EXの電源を入れます。

それぞれのTX/RXインジケーターが緑色に点滅します。

続いて、それぞれのLEVELインジケーターが緑色に点灯します。

これで、一方のWNS-230EXから他方のWNS-230EXに、同じ暗号キーがコピーされました。

# 暗号キーの設定

**LEVELインジケーターが赤色に点灯したときは**

暗号キーの設定ができていません。

いったんパソコン接続ケーブルを取り外し、もう一度、手順1からやり直してください。

何度繰り返しても赤色に点灯するときは、ソニーサービス窓口にご相談ください。

**4** それぞれのWNS-230EXの電源を切り、パソコン接続ケーブルを取り外します。

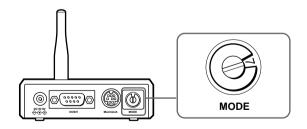
**5** それぞれの動作モード設定スイッチをもとの状態に戻します。
受信側のWNS-230EXを交換して、使用する台数分だけくり返し、すべてのWNS-230EXに同じ暗号キーを設定します。

## 暗号キーを変更するには

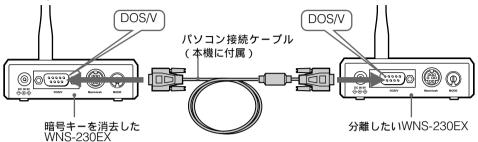
使用中の暗号キーを変更したり、同じ暗号キーが設定されているWNS-230EXの何台かに別の暗号キーを設定することができます。

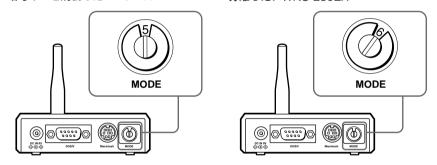
たとえば、ファイルを共有するパソコンを2つのグループに分けたいときなど、以下のように操作して、対応するWNS-230EXの暗号キーを変更します。

**1** 既存のグループから分離したいすべてのWNS-230EXの電源を切り、接続を外します。

**2** 手順1で接続を外したWNS-230EXのうちのいずれか1台の動作モード設定スイッチを以下のように設定します。

**3** このWNS-230EXの電源を入れます。
LEVELインジケーターが緑色に点灯します。
これで、このWNS-230EXの暗号キーが消去されます。

**4** 暗号キーを消去したWNS-230EXの電源をいったん切ります。

**5** 暗号キーを消去したWNS-230EXと分離したいWNS-230EXをパソコン接続ケーブル（本機に付属）で接続します。

**6** それぞれの動作モード設定スイッチを以下のように切り換えます。

暗号キーを消去したWNS-230EX　分離したいWNS-230EX

**7** それぞれのWNS-230EXの電源を入れます。
それぞれのTX/RXインジケーターが緑色に点滅します。
続いて、それぞれのLEVELインジケーターが緑色に点灯します。
これで、それぞれのWNS-230EXに、同じ新しい暗号キーが設定されました。
（暗号キーを消去したWNS-230EXに新たな暗号キーが生成され、その暗号キーが分離したいWNS-230EXにもコピーされました。）

**LEVELインジケーターが赤色に点灯したときは**

暗号キーの設定ができていません。
いったんパソコン接続ケーブルを取り外し、もう一度、手順4からやり直してください。
何度繰り返しても赤色に点灯するときは、ソニーサービス窓口にご相談ください。

**ご注意**

暗号キーの転送中に電波を受信した場合、LEVELインジケーターが点滅します。

**8** それぞれのWNS-230EXの電源を切り、パソコン接続ケーブルを取り外します。

**9** さらに既存のグループから分離するWNS-230EXがある場合は、手順5～8を繰り返します。

# 通信のテストをする

本機には、2台で互いにデータを送受信して、通信が正常に行われるかどうかをテストする機能があります。通信テストをする2台のWNS-230EXの暗号キーに関係なく設置状態を確認できます。
パソコン通信やインターネットへのアクセスがうまくいかない、あるいはパソコンどうしのファイル共有ができない、動作スピードが遅いなど、トラブルが発生した場合、原因が本機にあるのかそれ以外にあるのかを確かめることができます。

**テスト中の本機の動作**

通信のテストは、本機2台ひと組で行います。
テストを開始すると、一方が他方に対して、テスト用に内蔵しているデータを送信します。
受信側は、受信したデータとまったく同じデータを作って送信側に送り返します。テスト中は、この、テスト用データの送受信が繰り返されます。
テストデータの送信、受信が正常に行われたかどうかは、本機前面のTX/RXインジケーターおよびLEVELインジケーターの色で示されます。

## インジケーターの見かた

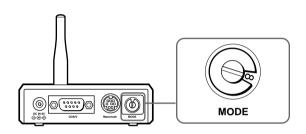
TX/RXインジケーターおよびLEVELインジケーターは、テスト中、以下のように点滅します。

| | 緑色に点滅 | 赤色に点滅 | 消灯 |
|---|---|---|---|
| LEVELインジケーター | 相手からのテストデータを正しく受信した。 | 相手からのテストデータを正しく受信できなかった。 | 相手からのテストデータをまったく受信しない。 |
| TX/RXインジケーター | 相手から送り返されたテストデータを正しく受信した。 | 相手から送り返されたテストデータを正しく受信できなかった。 | 相手から送り返されたテストデータをまったく受信しない。 |

次ページの手順でテストを行い、点滅するインジケーターの色を確認してください。
2台とも、TX/RXインジケーターおよびLEVELインジケーターが緑色に点滅すれば異常ありません。
いずれかのインジケーターが赤色に点滅したり、まったく点灯しない場合は、2台のWNS-230EXの電源を切り、間に障害物がないか、距離が離れすぎていないか（30m以内）確認し、もう一度テストを行ってください。
それでもインジケーターが赤色に点滅したり、まったく点灯しない場合は、本機が故障している可能性があります。
ソニーご相談窓口にお問い合わせください。

## テストを開始する

**1** テストをしたい2台のWNS-230EXの電源を切ります。

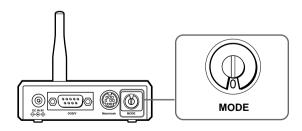
**2** テストをしたい2台のWNS-230EXの背面の動作モード切り換えスイッチを、2台とも以下のように切り換えます。

**3** テストをしたい2台のWNS-230EXの電源を入れます。
テストが始まります。

**テストを終了するには**

2台のWNS-230EXの電源を切ります。

**テストを終了したら**

2台のWNS-230EXの背面の動作モード切り換えスイッチを元の位置に戻してから電源を入れてください。

準備

# パソコンとTA/モデムをつなぐ

## 新しいTAやモデムを使用するとき

**ご注意**

すでにパソコンに接続して、インターネットへのアクセスやパソコン通信などに日常使用しているTA、モデムであれば、そのまま本機を使った接続に変更して使用できます。本機を接続し、TA/モデム専用のユーティリティーソフトを使用した場合にTA/モデムの設定が正常に行えないときは、いったんTA/モデムをパソコンに直接接続してTA/モデムの設定をしてください。
**新しいTAやモデムを使用する場合は、本機を使ってパソコンと接続する前に、必ずパソコンとTAやモデムを直接ケーブルで接続し、TAやモデムを使用するために必要な設定を行ってください。**

### TAやモデムのドライバーをパソコンに組み込む

TAやモデムのドライバーをパソコンに組み込みます。
詳しくは、使用するTAやモデムの取扱説明書を参照してください。

### TAやモデムの動作を確認する

新しいTAやモデムを使用する準備が整ったら、実際にパソコン通信やインターネットへのアクセスを行い、TAやモデムが正常に動作することを確認してください。

## パソコンと本機を接続する

### 本機の動作モードを設定する

電源が入っている場合は、いったん切ってください。
パソコン側に設置するWNS-230EXの背面の動作モード設定スイッチを、図のように切り換えます。

| | | IBM PC/AT互換機、NEC PC9800シリーズ | Macintosh |
|---|---|---|---|
| パソコンとTA/モデム間の通信速度 | 2400bps～115.2kbps | 0 MODE | 2 MODE |
| | 230.4kbps | 1 MODE | 3 MODE |

**ご注意**

MacintoshからTAの一部の機種を128kbpsで使用したとき、MacintoshとTA間の通信速度が自動的に230.4kbpsに切り替わることがあります。
動作モードスイッチを「2」にして正常に動作しなかった場合は、動作モードスイッチを「3」にしてください。

## パソコンに接続する

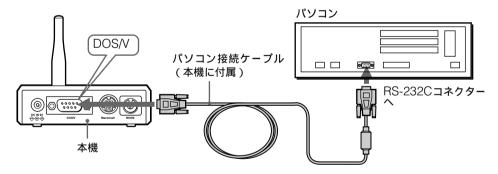
**ご注意**

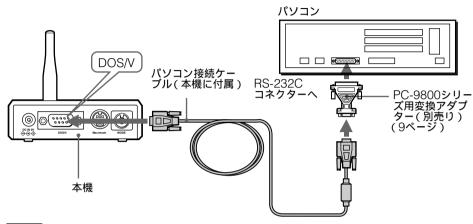
- 本機のMacintoshコネクターとDOS/Vコネクターを同時に使用することはできません。両方のコネクターを同時に使用すると故障の原因になります。
- 必ず指定の接続ケーブルを使用してください。それ以外のケーブルを使用すると故障の原因になります。

IBM PC/AT**互換機、**9**ピンコネクターを装備する**PC-9800**シリーズの場合**

本機に付属のパソコン接続ケーブルを使って接続します。

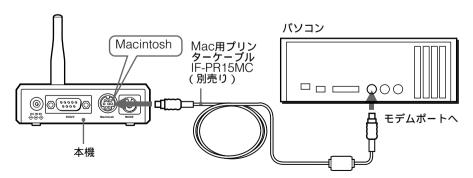
TAやモデムに無線でつなぐ

# パソコンとTA/モデムをつなぐ

### 25ピンコネクターのみ装備するPC-9800シリーズの場合

本機に付属のパソコン接続ケーブルとPC-9800シリーズ用変換アダプターを使って接続します。

**ご注意**

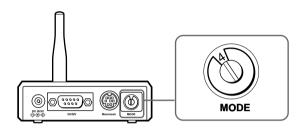
PC-9800シリーズの一部の機種では、25ピンのシリアルポートが正常に動作しないことがあります。この場合、Windowsのドライバーソフトをバージョンアップする必要があります。詳しくは、日本電気株式会社にお問い合わせください。

### Macintoshの場合

Mac用プリンターケーブルIF-PR15MC（別売り）または市販のプリンターケーブルを使って接続します。

# TA/モデムと本機を接続する

## 本機の動作モードを設定する

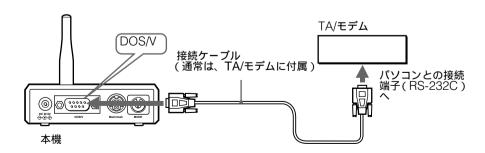
電源が入っている場合は、いったん切ってください。

TA/モデム側に設置するWNS-230EXの背面の動作モード設定スイッチを、図のように切り換えます。

## TA/モデムに接続する

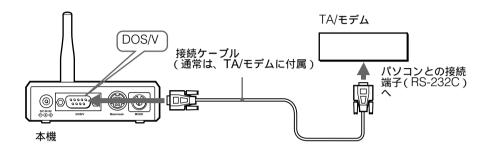
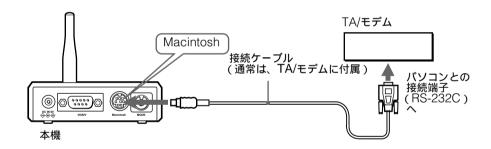
TAやモデムに付属のパソコン接続用ケーブルを使って、本機と接続します。

**ご注意**

- 本機のMacintoshコネクターとDOS/Vコネクターを同時に使用することはできません。両方のコネクターを同時に使用すると故障の原因になります。
- 本機に付属のパソコン接続ケーブルは、TA/モデムの接続には使用できません。

### IBM PC/ATとその互換機、DOS/Vパソコン用のTA/モデムの場合

# パソコンとTA/モデムをつなぐ

**PC-9800シリーズ用のTA/モデムの場合**

TA/モデムに付属の接続ケーブルが、PC-9800シリーズ用の25ピンRS-232Cコネクターにのみ対応している場合は、別途9ピンと25ピンの変換アダプターをご用意ください。

**Macintosh用のTA/モデムの場合**

TAとISDN回線や、モデムと電話回線との接続については、TA、モデムの取扱説明書を参照してください。

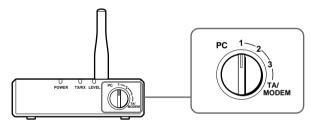
## パソコンとTA/モデムがつながることを確認する

### 通信モード設定スイッチを切り換える

**ご注意**

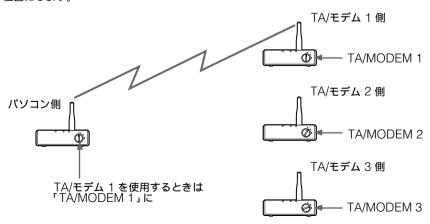
通信モード設定スイッチは、電源オンのままで切り替えることができます。切り替わるまでに約4秒かかります。

**パソコン1台でTA/モデム1台を使用する場合**

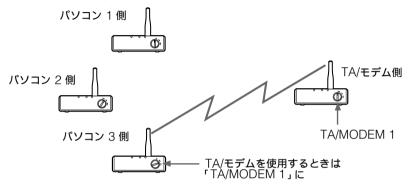
パソコン側、TA/モデム側のWNS-230EXとも、前面の通信モード設定スイッチを「TA/MODEM 1」の位置にします。

**パソコン1台で複数のTA/モデムを使用する場合**

TA/モデム側のWNS-230EXの通信モード設定スイッチは、「TA/MODEM 」の「1」、「2」、「3」のいずれかの位置にします。

パソコン側のWNS-230EXの通信モード設定スイッチは、使用するTA/モデム側のWNS-230EXと同じ位置にします。

# パソコンとTA/モデムをつなぐ

**複数のパソコンで1台のTA/モデムを共用する場合**

TA/モデム側のWNS-230EXの通信モード設定スイッチは、「TA/MODEM 1」の位置にしておきます。

このTA/モデムを使って通信するパソコン側のWNS-230EXの通信モード設定スイッチを、「TA/MODEM 1」にします。

**ご注意**

- 複数のパソコンで1台のTA/モデムを同時に使用することはできません。
- 複数のパソコンで1台のTA/モデムを同時に使用しようとすると、先に接続したパソコンが優先されます。

## 動作の確認をする

接続とスイッチの設定が終わったら、正しく通信できるかを確認してください。

**1** 本機の電源を入れます。

**2** TA/モデムの電源を入れます。

**3** パソコンの電源を入れます。

**4** パソコン通信やインターネットにアクセスしてみます。
パソコンと、TA/モデムをケーブルで接続していたときと同じ要領で操作してください。

**ご注意**

IBM PC/AT互換機の一部の機種では、パソコンの通信設定でストップビットを「1」に設定すると、接続が不安定になるものがあります。この場合は、ストップビットを「2」に設定してください。

# パソコンどうしでファイルを共有する

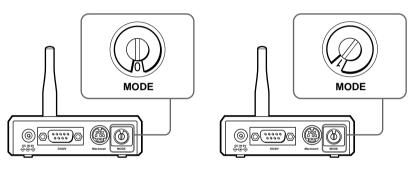
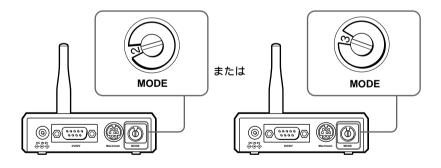
## パソコンと本機を接続する

### 本機の動作モードを設定する

電源が入っている場合はいったん切り、背面の動作モード設定スイッチを図のように切り換えます。

Windows 98（**または**Windows 95）、**または**Windows NT**どうしの場合**

通信速度を2400bps〜115.2kbps
で使用するとき

通信速度を230.4kbpsで使用するとき

Macintosh**どうしの場合**

**ご注意**

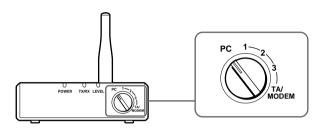
LocalTalkに対応したプリンターを共有する場合は、プリンターに対しても本機を1台使用してください。Macintoshパソコンにケーブルで接続されたプリンターは、パソコンで共有することはできません。

# パソコンどうしでファイルを共有する

### パソコンに接続する

パソコンとの接続のしかたについては、20〜22ページをご覧ください。

### 通信モード設定スイッチを切り換える

すべてのWNS-230EXの、前面の通信モード設定スイッチを「PC」の位置にします。

## パソコンでファイル共有のための設定をする

**パソコンの通信速度について**

ネットワークを構成するすべてのパソコンで、端末通信速度（パソコンとTA/モデム間の通信速度）は同じに設定してください。すなわち、すべてのパソコンで使用できる最高の速度に合わせるようにします。

### Windows 98（またはWindows 95）の場合

以下の設定をします。

- 「標準のモデムドライバ」を組み込む（28ページ）。
- ダイヤルアップネットワークを組み込む（29ページ）。
- TCP/IPの設定をする（31ページ）。
- ダイヤルアップネットワークの設定をする（33ページ）。

**標準のモデムドライバを組み込むには**

**1** Windows 98（またはWindows 95）を起動し、「マイコンピュータ」から「コントロールパネル」を開きます。

**2** 「モデム」をダブルクリックし、「モデムのプロパティ」を開きます。

**3** [追加] ボタンをクリックします。

**ご注意**

パソコンによっては、[追加]ボタンをクリックすると「インストールするモデムの種類」を選択する画面が表示されます。
この場合は、「その他」を選択して［次へ>］ボタンをクリックしてください。

**4** 「モデムを一覧から選択するので検出しない」チェックボックスをチェックしてから［次へ>］ボタンをクリックします。

**5** 「製造元」で「(標準モデムの種類)」(または「標準のモデムドライバ」) を、「モデル」で「標準28800bps モデム」を選択し、［次へ>］ボタンをクリックします。

**ご注意**

モデムドライバは、ファイル共有のために便宜上組み込むものですので、ここでは「標準28800bpsモデム」を選択してください。

**6** 「モデムを接続するポート」で「通信ポート (COM1)」を選択し、［次へ>］ボタンをクリックします。

「モデムは正常にセットアップされました」と表示されたら設定終了です。

**7** ［完了］ボタンをクリックします。

**ダイヤルアップネットワークを組み込むには**

以下の手順1から操作することによって、お使いのパソコンにダイヤルアップネットワークが組み込まれているかを調べ、組み込まれていなければ新しく組み込むことができます。

# パソコンどうしでファイルを共有する

**1** Windows 98（またはWindows 95）を起動し、「マイコンピュータ」から「コントロールパネル」を開きます。

**2** 「ネットワーク」をダブルクリックして、「ネットワーク」を開きます。

**3** 「現在のネットワークコンポーネント」（または「現在のネットワーク構成」）に「ダイヤルアップアダプタ」が登録されているか確認します。
登録されていれば、すでにダイヤルアップネットワークが組み込まれています。手順4以降の操作は必要ありません。

登録されていない場合は、「ネットワーク」を閉じてから、以下の手順4以降を実行して、ダイヤルアップネットワークを組み込んでください。

**4** 「コントロールパネル」ウィンドウで「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックして「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」を開きます。

**5** 「Windowsファイル」タブをクリックします。

**6** 「ファイルの種類」で「通信」をクリックします。

**7** 「ファイルの種類」で「ダイヤルアップネットワーク」のチェックボックスをチェックします。

**8** ［OK］ボタンをクリックします。

**9** 以下、表示されるメッセージにしたがってダイヤルアップネットワークを組み込みます。

## TCP/IPの設定をするには

**1** Windows 98（またはWindows 95）を起動し、「マイコンピュータ」から「コントロールパネル」を開きます。

**2** 「ネットワーク」をダブルクリックして開きます。

**3** 「現在のネットワークコンポーネント」（または「現在のネットワーク構成」）に「TCP/IP」または「TCP/IP -> ダイヤルアップアダプタ」が登録されているか確認します。
登録されている場合は手順6に進みます。
登録されていない場合は［追加］ボタンをクリックし、手順4に進みます。

**4** 「ネットワークコンポーネントの選択」（または「インストールするネットワーク構成ファイル」）で「プロトコル」を選び、［追加］ボタンをクリックします。（または、「プロトコル」をダブルクリックします。）

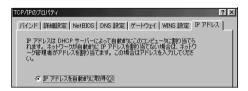
**5** 「製造元」で「Microsoft」を、「ネットワークプロトコル」で「TCP/IP」を選択し、［OK］ボタンをクリックします。

**6** 「現在のネットワークコンポーネント」（または「現在のネットワーク構成」）に「Microsoftネットワーク共有サービス」が登録されているか確認します。
登録されている場合は、手順9に進みます。
登録されていない場合は、［追加］ボタンをクリックし、手順7に進みます。

**7** 「ネットワークコンポーネントの選択」（または「インストールするネットワーク構成ファイル」）で「サービス」を選び、［追加］ボタンをクリックします（または［サービス］をダブルクリックします）。

**8** 「製造元」で「Microsoft」を、「ネットワークサービス」で「Microsoftネットワーク共有サービス」を選択し、［OK］ボタンをクリックします。

**9** 「現在のネットワークコンポーネント」(または「現在のネットワーク構成」)で「TCP/IP」または「TCP/IP -> ダイヤルアップアダプタ」をクリックして選択し、[プロパティ] ボタンをクリックします。

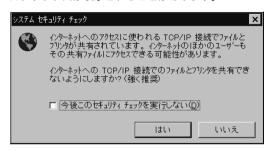
**10** 「IPアドレス」タブをクリックし、「IPアドレスを自動的に取得」オプションを選択します。

**11** 「バインド」タブをクリックし、「Microsoftネットワーククライアント」と「Microsoftネットワーク共有サービス」のチェックボックスをチェックし、[OK] ボタンをクリックします。

**12** 「ネットワーク」で「識別情報」(または「ユーザー情報」)タブをクリックし、「コンピュータ名」と「ワークグループ」を入力します。
「コンピュータ名」は、ネットワークを構成するパソコンを区別するものなので、重複しないよう、それぞれのパソコンで任意の名称(使用者の名前など)を入力します。
「ワークグループ」は、ファイルを共有したいパソコンどうしをグループ化するものです。グループ化するパソコンはすべて同じワークグループ名にします。

**13** [OK] ボタンをクリックします。

**14** パソコンを再起動します。

**ご注意**

- 上記のように設定し、ダイヤルアップでインターネットに接続しようとすると、以下のダイアログボックスが表示されることがあります。

  ここで[はい]をクリックして次に進んだ場合は、次回ファイル共有をする前に、再度手順11の設定をやり直す必要があります。[いいえ] をクリックすれば、再度設定をやり直す必要はありません。[いいえ] をクリックして、すべてのファイル共有にパスワードを設定することをおすすめします。
- 本機を使用してファイルやプリンターの共有を行う場合は、Windows 98(またはWindows 95)の起動時にパスワード入力画面が表示されたら、適当なユーザー名とパスワードを入力して次に進んでください。
- 「TCP/IP」および「Microsoftネットワーク共有サービス」の組み込みについて詳しくは、Windows 98 (またはWindows 95) の説明書をご覧ください。

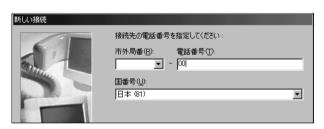
**ダイヤルアップネットワークの設定をするには**

**1** Windows 98 (またはWindows 95) を起動し、「マイコンピュータ」を開きます。

**2** 「ダイヤルアップネットワーク」フォルダをダブルクリックして開きます。

**3** 「新しい接続」をダブルクリックして開きます。

**4** 「接続名」に任意の名称（例：「共有しようよ!」）を入力し、「モデムの選択」で「標準 28800bps モデム」を選択して、[次へ>] ボタンをクリックします。

**5** 「電話番号」に「00」を入力して、[次へ>] ボタンをクリックします。

「新しいダイヤルアップネットワーク接続が次の名前で作成されました」と表示されたら設定終了です。

**6** [完了] ボタンをクリックします。

「ダイヤルアップネットワーク」フォルダ内に、手順4で設定した名前の新しいアイコンができています。

**7** 新しくできたアイコンを右クリックし、表示されるメニューで「プロパティ」をクリックします。

**8** 「接続の方法」で［設定］ボタンをクリックします。

**9** 「最高速度」で、ネットワークを構成するすべてのパソコンで使用できる最高の速度を選び、［OK］ボタンをクリックします。

**10** ［サーバーの種類］タブをクリックします。

**11** 「ダイヤルアップサーバーの種類」で「PPP:インターネット、Windows NT Server、Windows 98」（または「サーバーの種類」で「PPP: Windows 95、Windows NT 3.5、インターネット」）を選び、「詳細オプション」ではすべてのチェックボックスのチェックを外し、「使用できるネットワークプロトコル」で「TCP/IP」のチェックボックスだけをチェックします。

ネットワークを構築する

**12** 「使用できるネットワークプロトコル」の［TCP/IP設定］ボタンをクリックします。

**13** 「IPアドレスを指定する」（または「IPアドレスを指定」）オプションを選択し、IPアドレスを入力します。

使用できるIPアドレスは以下の範囲です。

10.0.0.1　～　10.0.0.254

（10.0.0.0および10.0.0.255は使えません。）

ネットワークを構成するすべてのパソコンに異なるIPアドレスを設定してください。

各IPアドレスの末尾の数値を変えて区別するようにします。

**例：**パソコンAは「10.0.0.1」、パソコンBは「10.0.0.2」、など

**14** ［OK］ボタンをクリックします。

## Windows NTの場合

以下の設定をします。

- ダイヤルアップネットワークを組み込む。
- ダイヤルアップネットワークの設定をする。

それぞれ、Windows 98（またはWindows 95）の場合を参考に設定してください。

**ご注意**

Windows NTの場合、「コントロールパネル」にある「モデム」の「プロパティ」の中の「最高速度」と、「ダイヤルアップネットワーク」の「モデムの構成」の中の「初期速度」を同じ値に設定してください。

## Macintoshシリーズの場合

ネットワークをLocalTalkに設定します。

LocalTalkの設定方法については、お使いのMacintoshの説明書をご覧ください。

## ファイル共有を開始する

### Windows 98（またはWindows 95）、Windows NTの場合

**自分のファイルをネットワーク内の他のパソコンから見られるようにするには**

**1** 「エクスプローラ」を起動します。

**2** 共有したいフォルダにマウスカーソルを合わせて右クリックします。

**3** 「共有」をクリックします。

**4** 「共有する」オプションを選択し、任意の共有名を入力します。

**5** ［OK］ボタンをクリックします。

これで、共有に設定したフォルダーを他のパソコンから見ることができます。

**ネットワーク内の他のパソコンのファイルを見るには**

**1** 「マイコンピュータ」を開きます。

**2** 「ダイヤルアップネットワーク」フォルダをダブルクリックして開きます。

**3** 新しく作ったダイヤルアップネットワーク接続のアイコンをダブルクリックします。

**4** ［接続］ボタンをクリックします。
「ユーザー名」、「パスワード」（および「ドメイン」－Windows NTの場合だけ）は入力する必要はありません。

**ご注意**

ファイル共有する場合、ファイルを共有したいすべてのパソコンで上記手順1～4のダイヤルアップ接続を行います。

**5** ［スタート］ボタンをクリックし、「検索」、「ほかのコンピュータ」をクリックします。

**6** 「名前」に、ファイルを見たいパソコンの名称を入力し、［検索開始］ボタンをクリックします。
指定したパソコンが見つかると以下のように表示されます。

**7** 見つかったパソコン一覧で、希望のパソコンをダブルクリックします。
共有に設定されているフォルダーが表示されます。

**ご注意**

ファイル共有とインターネット接続は同時にはできません。
いったんダイヤルアップ接続を終了してから、切り替えてください。

### Macintoshの場合

Macintoshでのファイル共有のしかたについては、お使いのMacintoshの説明書をご覧ください。
なお、MacintoshやプリンターなどのLocalTalk機器1台につき、本機1台が必要です。

# プリンターを共有するには

## Windows 98（またはWindows 95）、Windows NTの場合

### 自分のプリンターを共有に設定する

自分のパソコンに接続したプリンターを他のパソコンでも使用できるようにするため、「共有」に設定します。

**1** Windows 98（またはWindows 95）の［スタート］ボタンをクリックし、続いて「設定」、「プリンタ」の順で選びます。

**2** 共有したいプリンターのアイコンにマウスカーソルを合わせて右クリックします。

**3** 表示されたメニューで「共有」をクリックします。

**4** プリンターを「共有」に設定します。
「共有する」オプションをクリックして選び、「共有名」テキストボックスに任意の共有名を入力してください。

**5** ［OK］ボタンをクリックします。

これで、共有に設定したプリンターを他のパソコンで使用することができます。

### 共有プリンターを使用する

「共有」に設定された、他のパソコンのプリンターを使用するときは、以下のように操作します。

#### 共有したいプリンターをローカルプリンターとして組み込む

**1** Windows 98（またはWindows 95）の［スタート］ボタンをクリックし、続いて「設定」、「プリンタ」の順で選びます。

**2** 「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックして「プリンタウィザード」を開き、［次へ>］ボタンをクリックします。

**3** 「ローカルプリンタ」オプションをクリックして選び、［次へ>］ボタンをクリックします。

以下、プリンターの取扱説明書を参照して組み込んでください。

# プリンターを共有するには

### プリンター共有を開始する

**1** 「マイコンピュータ」から「ダイヤルアップネットワーク」フォルダをダブルクリックして開きます。

**2** 「ダイヤルアップネットワークの設定をするには」(33ページ)で作成したダイヤルアップネットワーク接続用のアイコンをダブルクリックします。

**3** 本機前面の通信モード設定スイッチが「PC」の位置になっていることを確認し、[接続] ボタンをクリックします。
「ユーザー名」「パスワード」(および「ドメイン」－Windows NTの場合) は入力する必要はありません。

**4** [スタート] ボタンをクリックし、続いて「検索」、「ほかのコンピュータ」の順で選びます。

**5** 「名前」に、共有プリンタが接続されているパソコンの名称を入力し、[検索開始] ボタンをクリックします。
指定したパソコンが見つかると次のように表示されます。

**6** 見つかったパソコンをダブルクリックします。
共有に設定されているプリンターが表示されます。

**7** 使用したいプリンターをダブルクリックします。
このとき以下のように表示されることがあります。

この場合は［はい］ボタンをクリックします。

**8** 「MS-DOSアプリケーションから印刷しますか」と表示されたら［いいえ］ボタンをクリックし、［次へ＞］ボタンをクリックします。

**9** 「現在のドライバをそのまま使う」オプションをクリックして選び、［次へ＞］ボタンをクリックします。

**10** 任意のプリンター名を入力し、「Windowsアプリケーションで通常のプリンタとして使いますか」に対して［はい］オプションをクリックしてから［次へ＞］ボタンをクリックします。
（通常のプリンターとして使用しない場合は［いいえ］を選んでください。）

**11** 「印字テストを実行しますか」に対して「はい」オプションをクリックして選び、［完了］ボタンをクリックします。

**12** 印字テストの結果を確認し、［はい］ボタンをクリックします。

これで、自分のパソコンのアプリケーションソフトから、共有プリンターを使用することができます。
次回、共有プリンターを使用する場合は、「プリンター共有を開始する」の手順1〜3の操作を行ってください。



## Macintoshの場合

LocalTalk対応プリンターの共有方法については、お使いのMacintoshの説明書をご覧ください。
なお、Macintoshやプリンターなどのlocaltalk機器1台につき本機1台が必要です。

# スイッチ設定一覧

<table>
<tr><th colspan="2"></th><th>通信モードスイッチ</th><th colspan="3">動作モードスイッチ</th></tr>
<tr><td rowspan="6">インターネット接続</td><td rowspan="3">パソコン側</td><td rowspan="3">PC 1 2 3 TA/MODEM</td><td></td><td>Windows</td><td>Macintosh</td></tr>
<tr><td>2400bps<br>～<br>115.2kbps</td><td>0<br>MODE</td><td>2<br>MODE</td></tr>
<tr><td>230.4kbps</td><td>1<br>MODE</td><td>3<br>MODE</td></tr>
<tr><td rowspan="3">TA／モデム側</td><td rowspan="3">PC 1 2 3 TA/MODEM</td><td colspan="3" rowspan="3">4<br>MODE</td></tr>
<tr></tr>
<tr></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">ファイル共有</td><td rowspan="3">PC 1 2 3 TA/MODEM</td><td></td><td>Windows</td><td>Macintosh</td></tr>
<tr><td>2400bps<br>～<br>115.2kbps</td><td>0<br>MODE</td><td rowspan="2">2<br>MODE<br>または<br>3<br>MODE</td></tr>
<tr><td>230.4kbps</td><td>1<br>MODE</td></tr>
<tr><td colspan="2">暗号送信（コピー元）</td><td></td><td colspan="3">5<br>MODE</td></tr>
<tr><td colspan="2">暗号受信（コピー先）</td><td></td><td colspan="3">6<br>MODE</td></tr>
<tr><td colspan="2">暗号消去</td><td></td><td colspan="3">7<br>MODE</td></tr>
<tr><td colspan="2">テストモード</td><td></td><td colspan="3">8<br>MODE</td></tr>
</table>

**ご注意**

MODE「9」はご使用になれません。

WNS-230/230wをお使いの場合は、そちらの取扱説明書も合わせてご覧ください。

# 主な仕様

無線通信速度　1Mbps
無線方式　スペクトラム直接拡散方式（IEEE-802.11準拠）
通信距離　見通しで300m（使用環境によって異なります）
暗号方式　独自方式
最大接続台数　パソコン32台
TA/モデム3台
パソコン/モデムとのインターフェース
調歩同期方式
2400/4800/9600/19200/38400/57600/115200/230400bps
8ビットパリティなし/7ビット奇数パリティ/7ビット偶数パリティ
電源　AC100V、50/60Hz
消費電力　7W以下
動作温度　5～35℃
保存温度　－10～55℃
最大外形寸法　90 × 73 × 138mm（幅/高さ/奥行き）
突起部除く
質量　約250g
適合認定番号　本体底面の記載
付属品　ACパワーアダプターAC-T34（1）
パソコン接続ケーブル（1）
取扱説明書（1）
ソニーご相談窓口のご案内（1）
保証書（1）

## コネクターの信号接続

### DOS/Vコネクター

| ピン番号 | 入力/出力 | 信号 |
|---|---|---|
| 1 | 入出力 | CD（受信キャリア検出） |
| 2 | 入力 | RD（受信データ） |
| 3 | 出力 | SD（送信データ） |
| 4 | 出力 | ER（データターミナルレディ） |
| 5 | － | SG（信号グラウンド） |
| 6 | 入力 | DR（データセットレディ） |
| 7 | 出力 | RS（送信要求） |
| 8 | 入力 | CS（送信可） |
| 9 | 入出力 | CI（被呼表示） |

### Macintoshコネクター

| ピン番号 | 入力/出力 | 信号 |
|---|---|---|
| 1 | 出力 | HSKo |
| 2 | 入力 | HSKi |
| 3 | 出力 | TxD– |
| 4 | － | GND |
| 5 | 入力 | RxD– |
| 6 | 入力 | GND |
| 7 | 入出力 | GPi |
| 8 | 入力 | RxD+ |

# 故障かな?と思ったら

パソコン通信やインターネットへのアクセスがうまくできない、パソコンどうしのファイル共有ができないなど、不具合が生じた場合は、以下の項目をお調べください。
不具合の原因が本機にあると思われる場合は、「通信のテストをする」(18ページ)にしたがって、本機どうしの通信が正常に行われるかどうかをお確かめください。
TAやモデムを使っての通信ができない場合は、パソコンとTA（モデム）を直接ケーブルで接続して、正しく通信できるかどうかをお確かめください。

| 症　状 | 原　因 | 対　策 |
|---|---|---|
| まったく動作しない | 本機の電源が入っていない。 | ACパワーアダプター（付属）で本機を電源コンセントに接続し（14ページ）、POWERスイッチの「I」を押して電源を入れてください。 |
| まったく動作しない/正常に動作しない/「モデムからの応答を受信しません」と表示される | 本機どうしの間に障害物がある。または本機どうしの距離が離れすぎている。 | 障害物を取り除いてください。また、本機どうしの間隔が30mを越えないように設置してください。(通信可能な間隔は条件によって変化します。) |
| | 背面の動作モード設定スイッチを切り換えた。 | 本機の電源をいったん切り、再度入れてください。 |
| | 本機とパソコン、本機とTA/モデムの接続に、正しいケーブルを使っていない。 | 必ず、この説明書に記載されている接続ケーブルを使用してください（21〜24ページ)。 |
| 動作モードスイッチの設定が正しいにもかかわらす、TX/RXインジケーターが赤色に点滅する | 暗号キーが消去された。または正しく設定されていない。 | 通信するWNS-230EXどうしが同じ暗号キーになるように設定してください（15ページ)。 |
| 動作モードスイッチの設定が正しいにもかかわらす、TX/RXインジケーターが赤色に点灯、LEVELインジケーターが赤色に点滅する | 内部のソフトウェアが壊れている。 | ソニーサービス窓口にご相談ください。 |
| TAやモデムを使っての通信ができない | パソコンで、TA/モデムの設定が正しくできていない。 | パソコンとTA/モデムを直接ケーブルで接続して、正しく通信ができるか確認してください。<br>通信できない場合は、TA/モデムの説明書をご覧になり、パソコン側で必要な設定をもう一度行ってみてください。 |

| 症　　状 | 原　　因 | 対　　策 |
| --- | --- | --- |
| TAやモデムを使っての通信ができない | パソコンの通信速度が本機でサポートしている速度になっていない。 | 本機の通信速度に合わせてください（20、27ページ）。 |
| | 背面の動作モード設定スイッチの設定が正しくない。 | 正しく設定してください（20、23ページ）。 |
| | 前面の通信モード設定スイッチの位置が正しくない。 | 正しく設定してください（25ページ）。 |
| Windows 98（またはWindows 95）、Windows NTパソコンの場合にパソコンどうしのファイル共有ができない | 前面の通信モード設定スイッチの位置が正しくない。 | 正しく設定してください（28ページ）。 |
| | 背面の動作モード設定スイッチの位置が正しくない。 | 正しく設定してください（27ページ）。 |
| | 通信速度の設定が正しくない。 | ネットワークを構成するすべてのパソコンで使用できる最高の速度に設定してください（28ページ）。 |
| | モデムの登録が正しくない。 | 標準の28800bpsモデムを登録してください（29ページ）。 |
| | ダイヤルアップネットワークの設定をしていない。 | ダイヤルアップネットワークの設定をしてください（30ページ）。 |
| | IPアドレスの指定が正しくない。 | 各パソコンに、使用できるIPアドレスを割り当ててください（32〜36ページ）。 |
| | 相手のパソコンを検索していない。 | 相手のパソコンを見るには、検索する必要があります（37ページ）。 |
| | 相手がファイルを共有にしていない。 | 相手のパソコン内で、見ることができるのは共有に設定されているファイルだけです。 |
| | Macintoshシリーズとファイル共有しようとしている。 | ファイル共有ができるのは、Windows 98（またはWindows 95）、Windows NTパソコンどうしだけです。 |

（次ページに続く）

# 故障かな?と思ったら

| 症　　状 | 原　　因 | 対　　策 |
|---|---|---|
| Macintoshの場合にパソコンどうしのファイル共有ができない | 前面の通信モード設定スイッチの位置が正しくない。 | 正しく設定してください（28ページ）。 |
| | 背面の動作モード設定スイッチの位置が正しくない。 | 正しく設定してください（27ページ）。 |
| | 相手がファイル共有に設定していない。 | 相手がファイル共有に設定していない場合、そのパソコンを見ることはできません。 |
| | Windows 98（またはWindows 95）、Windows NTパソコンとファイル共有しようとしている。 | ファイル共有ができるのは、Macintoshシリーズどうしだけです。 |
| ファイル共有時の動作スピードが遅い | パソコンの台数が比較的多い。 | パソコンの台数が多くなると動作スピードが遅くなることがあります。故障ではありません。 |
| | 電波状態が悪い。 | 電波の状態が悪いとエラーが発生して動作スピードが遅くなります。 |

## お問い合わせについて

WNS-230EX本体に関する技術的なご質問は、下記にお問い合わせください。

**カスタマーサポート専用ライン**

(03) 3280－1355　　受け付け時間：月～金　午前10:00～午後5:00
（ただし、午前11:50～午後12:50を除く）
（土、日、祝日、年末年始、5月の連休などは休み）

**●FAXでのお問い合わせは**

(03) 5488－7062　　受け付け時間：24時間（自動受信）
（ただし、土、日、祝日、年末年始、5月の連休などにいただいたお問い合わせに対するお返事は、業務再開後とさせていただきます。）

**ソニーホームページによるサポート情報の提供について**

本機に関するサポート情報を以下のホームページ上で提供させていただく予定です。
お客様のアクセスをお待ちしています。

http://www.sony.co.jp

**お願い**

本機をご購入いただいていないお客様のお問い合わせは、お客様ご相談センターへお願いいたします。

ソニー株式会社〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ
● ナビダイヤル…………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は… 03-5448-3311
● Fax ………………………… 0466-31-2595

受付時間：月～金 9:00～20:00、土・日・祝日 9:00～17:00

# 保証書とアフターサービス

## 保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

正常な使用状態で本製品に故障が生じた場合、当社は本製品の保証書に定められた条件に従って修理を致します。ただし、本製品の故障、誤作動または不具合により、通信などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

## アフターサービス

**調子が悪いときはまずチェックを**

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

**それでも具合の悪いときはサービスへ**

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

**保証期間中の修理は**

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

**保証期間経過後の修理は**

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

**部品の保有期間について**

当社では、ワイヤレスアダプターの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低7年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

**ご相談になるときは、左ページにあるカスタマーサポート専用ラインへ、次ページの「お問い合わせシート」の内容をお知らせください。またFaxの場合は、「お問い合わせシート」をコピーの上、ご利用ください。**

# ■お問い合わせシート　FAX (03) 5488-7062

## ➡ WNS-230EXカスタマーサポートセンター行き

| No. | 項目 | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 製品名 | □WNS-230EX | SERIAL No.1 | |
| | | □WNS-230 | SERIAL No.2 | |
| | | □WNS-230w | SERIAL No.3 | |
| 2 | 使用目的 | □インターネット／パソコン通信<br>□ファイル／プリンター共有<br>□その他（　　） | | |
| 3 | お問い合わせ内容<br>または不具合症状 | | | |
| 4 | パソコン機種名 | 1. | 使用OSバージョン | |
| | | 2. | 使用OSバージョン | |
| 5 | TA/モデム機種名 | | | |
| 6 | 使用ケーブル | パソコンとの接続 | □本機に付属のもの | |
| | | | □別途ご用意されたもの（　　） | |
| | | TA/モデムとの接続 | □TA/モデムに付属のもの | |
| | | | □別途ご用意されたもの（　　） | |
| 7 | 設置の準備 | 1.暗号キーの設定（15ページ） | □済　□未 | |
| | | 2.通信のテスト（18ページ） | □済　□未 | |
| | | 3.ケーブルを直接接続して動作することの確認 | □済　□未 | |
| | | 4.設置状況（距離、場所など）<br>（　　） | | |
| 8 | 本機のスイッチ設定 | | 通信モードスイッチ | 動作モードスイッチ |
| | 1.インターネット接続 | パソコンと接続した方 | TA/MODEM<br>□1 □2 □3 | □0 □1 □2 □3 |
| | | TA/モデムと接続した方 | | □4 |
| | 2.ファイル共有 | パソコン1との接続 | □PC | □0 □1 |
| | (Windows使用) | パソコン2との接続 | □PC | □0 □1 |
| | (Macintosh使用) | パソコン1との接続 | □PC | □2 □3 |
| | | パソコン2との接続 | □PC | □2 □3 |
| 9 | パソコンの設定など | | | |
| | 1.インターネット接続 | パソコンの通信速度 | □115kbps □230kbps □その他（　　） | |
| | | ご使用の通信ソフト（　　） | | |
| | | ダイヤルアップ接続先（　　） | | |
| | (Windows使用) | 使用ポート | □COM1　□COM2　□その他（　　） | |
| | (Macintosh使用) | 使用ポート | □PRINTER | □MODEM |
| | 2.ファイル共有 | パソコンの通信速度 | □115kbps □230kbps □その他（　　） | |
| | (Windows使用) | 使用ポート | □COM1　□COM2　□その他（　　） | |
| | (Macintosh使用) | 使用ポート | □PRINTER | □MODEM |
| 10 | ご連絡先 | お名前（　　） | ご購入年月日（　　） | |
| | | お電話番号（　　） | FAX番号（　　） | |
| | | 郵便番号（　　） | | |
| | | ご住所（　　） | | |

表の各項目を記入して、お問い合わせの際にご使用ください。